

# 【収入保険】私の選択・加入者の声



「大雪、猛暑などに備えて」

【静岡県伊豆の国市 鈴木 忍さん（54）】

脱サラして、2013年から本格的にイチゴを栽培。現在、私と妻、息子2人の4人で、「紅ほっぺ」（ハウス8棟、計27アール）を土耕栽培しています。個人客への直売を主体にケーキ店、地元スーパーなどに販売、市場や道の駅にも出荷しています。

14年2月の大雪で、前年の秋に建てたばかりのハウスが倒壊。収穫間際のイチゴもだめになりました。これまでも園芸施設共済には入っていましたが、この経験からリスクと経営安定を考え、収入保険にも加入しました。

けがや病気による収入減少も補償の対象になるのはメリットだと感じています。また、年齢制限がないのもいいですね。年齢を重ねると、健康面の不安も出てきます。一人ならばいいですが家族も一緒に働いているので、十分な補償がないと安心できません。そのため、補償割合は青色申告実績3年での最大補償（保険方式78%、積み立て方式10%）を選択しています。

（農業共済新聞 2019年4月4週号より抜すい）